

# 赤野井自治会だより

令和6年(2024年)2月22日 発行  
世帯数 373 戸 人口 996 人 (R6.1/31 現在)  
発行責任者 自治会長 鈴木 繁幸  
LINE 登録者: 101 人 インスタグラム: 71 人

## 300年の時を超え

## 100年目の今、よみがえる受け継がれし宝物

釈迦堂掛軸4幅の修理が終わりました。

町内の皆さまより多くのご寄進を頂き、この度、掛軸の修理が完成致しました。今後共赤野井町の貴重な財産として守り、引き継いで参ります。ありがとうございました。

「修理に要した費用等」

・町内からのご寄進 196 口	1,011,046 円
・赤野井自治会からの執行額	1,300,000 円
・川端町内会からの執行額	1,353,076 円
掛軸4幅の修理合計額	3,664,122 円



2月15日(木) 釈迦堂にて「涅槃会」のお勤めが行われました。

涅槃会(ねはんえ)とは、お釈迦様の亡くなられた日に行われる法要のことです。涅槃(肉体をなくすと共に悟りの境地)に入ったお釈迦様のことをしのび、亡くなられる時の様子を描いた「涅槃図」を掲げ行われる法要です。毎年2月15日に常照寺の住職が導師となり他の4つのお寺の住職が正信偈(しょうしんげ)のお勤めを行います。

「涅槃図」は、元禄15年(1702)2月15日に大庄屋諏訪家より寄進されたもので、その後、赤野井町が保管し宝物として受け継がれているものです。明治29年(1896)に、野洲川の堤防が決壊し現守山市域の70%の地域が浸水するという大水害が起こった際、この掛軸も被害にあったようです。それから28年後の大正13年(1924)春に、傷んでいたこの涅槃図がようやく諏訪家(当主安敬)の寄進によって修復されました。しかし、その後年数が経過する中で傷みも激しくなり、このままでは保存出来なくなるとの見解を頂き、価値ある財産を後世にも引き継ごうと、住民からの寄進と自治会並びに町内会が費用を負担し令和5年2月より修復に入りました。

そして令和6年(2024)1月に修復され戻って来ました。なんと、前回の修復から100年目の節目の年の修復となりました。



(京都新聞の取材を受けました。  
2/15の新聞に掲載されました。)



(涅槃図: ねはんず)



(法要後、文化遺産プランニング  
井上ひろ美さんの講話)

# 赤野井自治会が優良団体表彰を受賞しました！！

1月7日(日)「令和6年守山市消防出初式」が守山市民ホールにて開催されました。消防活動等に功績のあった個人と団体に対し表彰が行われ、我が赤野井自治会は「優良団体(一般協力者)」表彰を受賞しました。おめでとうございます。

自治会を代表し鈴木自治会長と女性消防隊隊長、阿迦井さんが登壇されました。今後も自主防災の重要性を認識し継続して訓練に取り組んでいきたいと思っております。

《 表彰状文面 》 赤野井自治会 様

あなたがたは自主防災の重要性をよく認識され火災予防をはじめとする積極的な活動を行い地域住民の防火思想の高揚に大きく貢献されましたその功績は他の模範となるところでありますよってここに表彰します。



## 国指定重要無形民俗文化財 伊勢大神楽講社 山本勘太夫社中の町内巡行について

※ 町内巡行 3月31日(日)・4月1日(月) (留守にならないようお願いします。)  
毎年恒例の総舞(カシキリ)につきましては、3月31日(日)午後1時より  
諏訪家屋敷にて開催を予定しています。(雨天の場合は、諏訪家屋敷内で開催予定)  
詳しい詳細は、回覧、ポスター、ホームページ等でお知らせします。



★ LINE登録者数：101 ★ インスタグラム登録者：71 (2月20日現在)

赤野井自治会では通信アプリLINE(ライン)で、地域住民に各種情報を一斉配信する取組みを行っています。災害時の緊急情報だけでなく、イベントなどのお知らせも迅速に届ける事が出来ます。みなさまの登録よろしくお祈りいたします。



LINE公式アカウントは登録者同士のトークはできません。質問なども他の登録者からは見られません。



赤野井自治会公式  
Instagram  
赤野井自治会のステキな場所・人・モノ・コトをゆるっとご紹介しています。

## 事務局だより ～ ボランティアさんを募集しています！！ ～

赤野井自治会では、ホームページをはじめ公式LINE、Instagramを使って各種事業や行事を適時に案内しています。また、今後も予想される防災対策等のSNS等による情報発信を推進しています。町内の方で少しの時間でも結構ですので、お手伝いをして頂ける方を募集しています。皆さまのご協力をお願いします。

